

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	03049-1	事業名	児童手当給付事業	部名	市民文化部	
					室名	保険年金室	
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			財	会計	一般会計
	基本施策	02:子育て支援			務	款	民生費
	施策の方向	01:健やかに産み育てる支援体制づくり			科	項	児童福祉費
戦略プロジェクト				目	目	児童措置費	

② 目的・概要	対象	出生により新たに市の区域内に住所を定めた第3子以降の保護者であって、3人以上の子どもを養育する方				
	目的	次世代を担う子どもの出生を祝うとともに、その健やかな成長を願い、子ども1人当たり30,000円を出生祝金として支給する。				

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	①	名称 出生祝金支給回数	計画値			
		補足		実績値	12	12	12
		単位			回	回	回
	成果	①	名称 出生祝金支給人数	計画値			
		補足		実績値	73	65	72
		単位			人	人	人

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績				出生祝金 支給人数 72人 支給金額 2,160,000円				
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	370	平均給与額×③
		事業費		2,160	2,160	一般職員人件費 ②	370	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.05	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源		2,160	2,160				
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	370				
	総コスト		⑥	2,530				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	当初予算額の見込み60人を上回る72人の方にお祝いのメッセージとともに出生祝金を支給した。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	平成24年度以降、出生祝金の対象者が増加傾向にあるため、予算措置に反映する必要がある。	
	【改善の方向性】	市の様々な子育て支援施策の充実等によるものと思われるため、関係部署と協議していく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 保険年金室長 村山 成俊